

# AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

看護研究集録 (2013.03) 平成23年度:135.

局所麻酔下で硝子体手術を受ける患者の手術中の体験

鉄川洋平、中川典子

# 局所麻酔下で硝子体手術を受ける患者の手術中の体験

手術部ナースステーション 鉄川 洋平、中川 典子

## 1. 研究目的

私達は局所麻酔下眼科手術後の患者の声から、手術中の患者の体験を十分に把握できていないのではないかと感じていた。

そこで今回、局所麻酔下で硝子体手術を受ける患者が手術中にどのような体験をしているのかを明らかにし、手術中の看護介入を検討した。

## 2. 研究方法

局所麻酔下で硝子体手術を受ける患者を対象とし、手術中に患者の言動と反応を記録した。

さらに手術後に訪問し半構成面接法で患者の手術体験について聴取、会話は同意を得て録音。録音した面談内容を逐語的に書き起こしコード化。コードは KJ 法を用いてカテゴリー化した。

## 3. 倫理的配慮

対象者に研究の主旨、プライバシー保護について書面および口頭にて説明し、同意書に署名を得た。

## 4. 結果

対象者は男性 9 名、女性 8 名の計 17 名、平均年齢 67 歳。入室から退室までの平均時間は 2 時間 53 分であった。

患者からの自発的な訴えは、疼痛の訴えが 5 名、体位による苦痛の訴えが 3 名、排尿の訴えが 1 名で、その他の訴えは無く、医療者からの声掛けに対して「大丈夫です」と答える患者が大半であった。

手術後の逐語録から 255 個のコードを抽出、22 個の

サブカテゴリーと【8 個のカテゴリー】に分類、以下にカテゴリーと構成要素を記載する。

【同一体位を保持することの困難さ】は 53 個のコード・3 個のサブカテゴリーで構成。

【手術中に生じる尿意】は 5 個のコード・1 個のサブカテゴリーで構成。

【手術中の痛みによる苦痛】は 58 個のコード・4 個のサブカテゴリーで構成。

【予測できない出来事への遭遇】は 36 個のコード・4 個のサブカテゴリーで構成。

【手術室環境による不安】は 25 個のコード・2 個のサブカテゴリーで構成。

【手術中に生じる眠気】は 14 個のコード・1 個のサブカテゴリーで構成。

【手術中の緊張】は 16 個のコード・1 個のサブカテゴリーで構成。

【手術に対する思い】は 48 個のコード・6 個のサブカテゴリーで構成。

## 5. 考察・結論

局所麻酔下で硝子体手術を受ける患者は、その多くが手術操作に敏感に反応しながらも手術に対する期待や不安を持ち、同一体位による苦痛や痛みを体験しながら手術に臨んでいた。手術室では患者と関わる時間が限られてしまうため、私達は高度なコミュニケーション能力を身に付ける必要がある。そして患者との関係性を築いた上で、手術中に阻害される患者のニーズを把握し充足するような看護介入が重要となる。